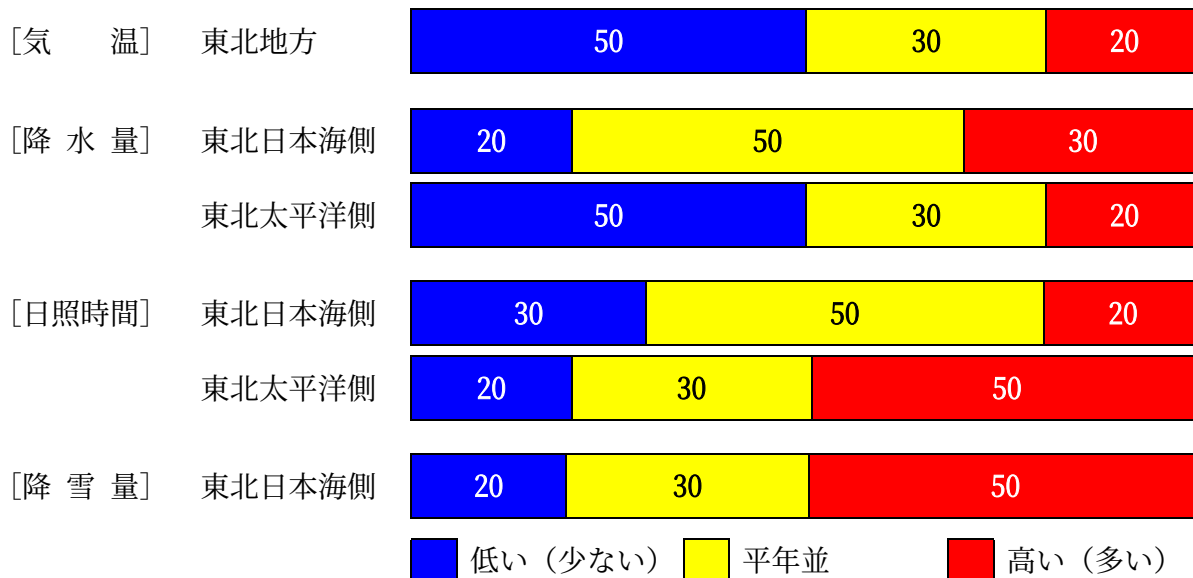


東北地方の1か月予報解説資料（予報期間：12月29日～1月28日）

平成13年12月28日 仙台管区气象台

1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率（％）



[気 温]：東北地方は「低い」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は30%です。「高い」の可能性は20%と小さい。

[降 水 量]：東北日本海側は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「多い」で、その確率は30%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

東北太平洋側は「少ない」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は30%です。「多い」の可能性は20%と小さい。

[日照時間]：東北日本海側は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「少ない」で、その確率は30%です。「多い」の可能性は20%と小さい。

東北太平洋側は「多い」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は30%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

[降 雪 量]：東北日本海側は「多い」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は30%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

①向こう1か月

期間を通して冬型の気圧配置が現れやすく、気温の低い日が多いでしょう。東北日本海側では、平年同様曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

向こう28日間の平年の晴れ日数：東北日本海側約5日、東北太平洋側約18日

②各予報期間の天候の特徴

1週目…………… 期間の初めと中頃に気圧の谷が通り天気がくずれるでしょう。
(12月29日～1月4日) 気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪の降る日が多く、東北太平洋側では概ね晴れるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約1日、東北太平洋側約4日

2週目…………… 冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では、
(1月5日～1月11日) 平年同様曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

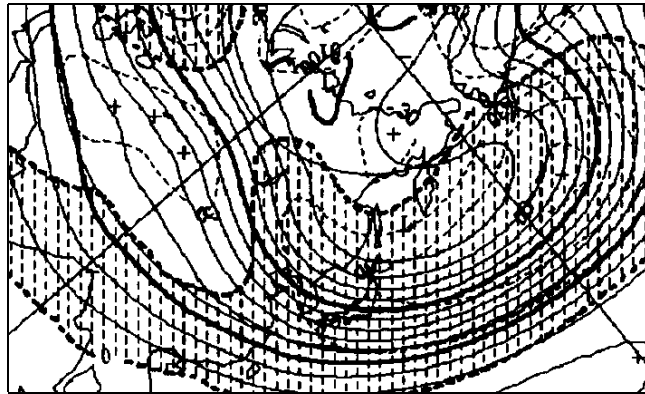
平年の晴れ日数：東北日本海側約1日、東北太平洋側約4日

3～4週目…………… 冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では、
(1月12日～1月25日) 平年同様曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約2日、東北太平洋側約9日

③予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

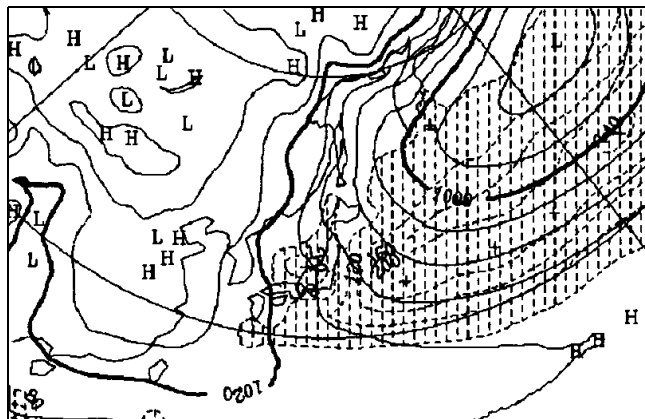


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、極付近は正偏差で、日本を含む中緯度帯は広く負偏差域に覆われる。このため、日本付近へは寒気が南下しやすい。

週別（図略）でも、日本付近は負偏差の状態が続く。



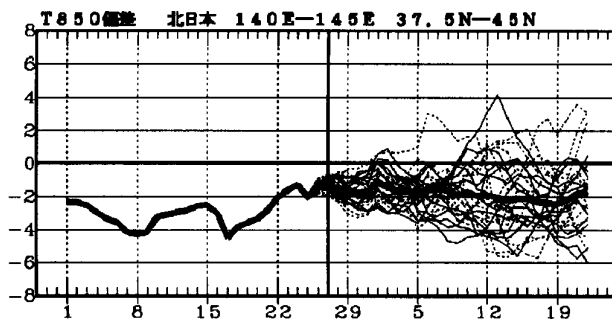
月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・地上気圧と降水量

月平均で見ると、大陸には優勢な高気圧があり、アリューシャン付近には発達した低気圧があって、日本付近は冬型の気圧配置となっている。

まとまった降水域は、日本の東海上だが、日本海にも冬型の気圧配置に伴う降水域が広がる。

週別（図略）でも、月平均とほぼ同様に、冬型の気圧配置が続く。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想

(縦軸：気温平年差 (°C)、横軸：日付)

発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

・北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、平年を下回った状態で推移する。

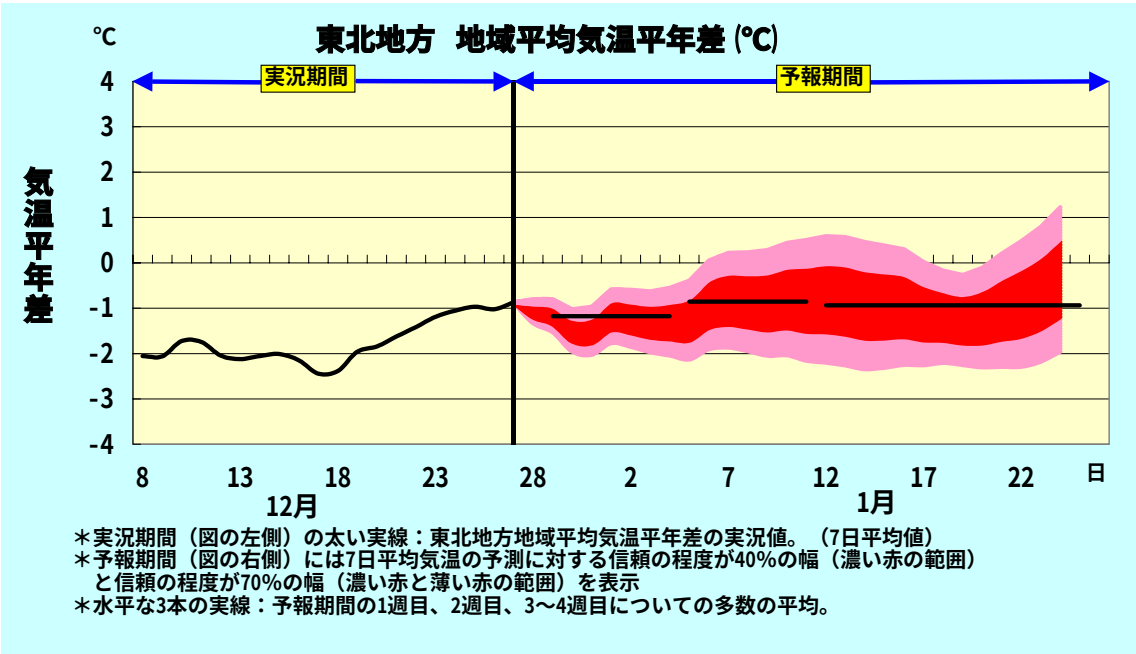
なお、2 週目後半から各メンバーのばらつきが大きくなるが、平年を上回るメンバーは少ない。

3. 東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、すべての週で「低い」を予測している。

予報は、予測通りとする。

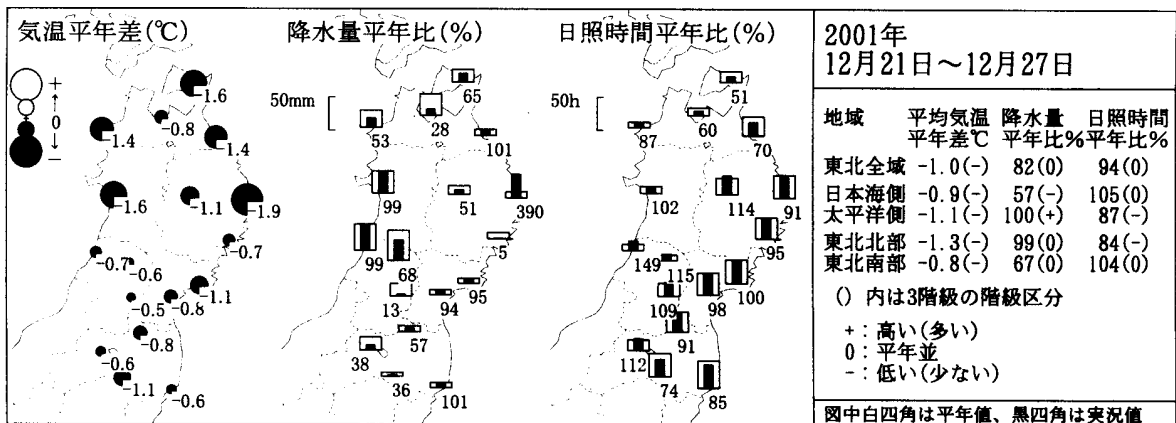
なお、予報の信頼度は小さい。



4. 最近1週間（12月21日～12月27日）の天候の経過

この期間、気圧の谷が短い周期で通過した。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は21～22日に曇りや雨または雪となった他は概ね晴れた。

平均気温は、東北地方で平年差-1.0℃と低かった。降水量は、東北日本海側で平年比57%と少なく、東北太平洋側で平年比100%と多かった。日照時間は、東北日本海側で平年比105%と平年並、東北太平洋側で87%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）